

4人の学生にききました ～活動についての9つの質問～

- 01 応募した動機は？
- 02 ネタ集めの際に心がけていることは？
- 03 手ごたえはどんな時に感じる？
- 04 自分の集めたネタが放送で流れているのを聞いた感想は？
- 05 やって楽しいことは？
- 06 やって難しいと感じたことは？
- 07 この経験でどんな力が身に付いたと思う？
- 07 今後やってみたいと思うことは？
- 08 後輩に勧めてみたいと思う？
- 09 自由にひと言

都市生活学科4年
ラジオネーム：る
制作アシスタント



- 01 ラジオ制作！？面白そう！という軽い気持ちでしたが思い切って応募してみました。
- 02 リスナーの皆さんが聞いていて楽しそうなことを集めるのに心がけています。ただネットのエピソードを調べるだけでなく、自分の経験したエピソードをその日のテーマに合わせて書くようにしています。
- 03 リスナーの皆さんからの温かいメッセージを頂いた時はとても嬉しいです。とても励みになります。
- 05 テーマについてネタ集めをする時に知らないことだらけでいつもへえーと思いながら調べています。なので調べる作業がとても楽しいです。また友達とかの意見をネタとして取り入れる時があるのでその時の放送日はニヤニヤしながら聴くのが楽しいです。
- 06 言いたいことを上手く言葉で表現できない時があるのでそこは難しいと感じます。
- 07 文章力が身についたと思います。やはり、聴いてるだけで面白いと思っていただけるようにしないといけないので言葉でのわかりやすい説明や表現力がついたと思います。
- 08 ラジオ制作と聞いて難しそうだったり、自分の予定と合うのかと不安に思う人も多いと思いますが、作業ペースや量を自分で決めることができるのでとってもおすすめです！自分が担当した回を聴くのはとっても楽しいです！なので私は勧めたいと思います。
- 09 少しでも迷ったら行動すべきです！なんでもやりたいと思ってみたらやってみましょう！

英語学科4年
ラジオネーム：さーたん
番組アシスタント



- 01 幼い頃から父の影響でラジオを聴く機会が多かったため、将来ラジオに携わるお仕事をしてみたいと思っていましたため、この募集を見つけて迷わず応募しました！
- 02 リスナーさん一人一人に楽しんでもらえるようなトークや声をお届けすること。
- 03 話していたトークにリスナーさんが興味を持ってくれた時。
- 04 憧れていた場所で自分自身がお話していることに不思議な感じがしました。
- 05 何よりパーソナリティの井関さんやリスナーの方と一体となって、楽しくお話ししている時です。
- 06 生放送のため、噛んだり漢字の読み間違えをしないように常に気を張っていたことです。
- 07 テレビとは違って声のみで相手に感情を伝えるため、「こうしたらもっと伝わりやすいかな？」など出演していくうちに、自ら考えることができるようになり積極性や行動力が身につきました。
- 08 100%オススメします！
- 09 みっきいずとして参加させてもらった時間はかけがえのない大切な宝物です。出演の度にスタッフの皆さんが暖かく迎え入れてくださって、毎回安心して本番に望むことができました。学生としてのボランティアだったため、出演できる回数が本当に少なかったのですが、リスナーの皆さまにも大変良くしていただいて感謝の気持ちでいっぱいです★ さーたんこと私はこれから新しい道を歩んで参りますが、この経験を糧にもっともっと成長して行きたいと思います！！本当にありがとうございました。

英語学科2年
ラジオネーム：あすか
制作アシスタント



- 01 大学生になり、新しいことにチャレンジしてみたくて応募しました！
- 02 できるだけインターネットの情報だけでなく、周りの友達に聞いたりして、わたしと同世代の子達の意見などを集められるようにしています。
- 03 自分の集めたネタが放送されているとき。
- 04 素直にうれしいです。ちょっとドキドキしながら聞いています。
- 05 パソコン作業が結構好きなので、ネタをまとめる時楽しいと感じます。
- 06 いまのところはないです。
- 07 企画はパツとは思いますが、またスタジオで話せる機会があればうれしいなと思います☺ ※あすかさんは昨年1月冬休みに1度出演しました
- 08 私は実際に友人に勧めて、一緒に活動をしています。とても楽しいしやりがいもある、貴重な経験なので、ぜひやってほしいです！
- 09 まだまだ貢献出来てない部分も多いですが、とても楽しく活動させていただいていて、スタッフの方々にはとても感謝しています！これからもっと頑張りたいです！

心理学科2年
K.N.
制作アシスタント



- 01 友達に誘われて興味があったからです。このようなボランティアを経験したことがなかったので、せっかくの大学生活ということもあり挑戦しようと考えました。
- 02 自分が調べた時に「へえ～！」と思えるようなものにしています。また既に自分が知っていることでも他の人が面白い！なるほど！と思ってくれそうなものも選んでいます。
- 03 一人でも私のネタに対して反応してくださった時です。やってよかった、と思います。
- 04 本当に私の書いたことが放送される！と照れました。外で聴くとニヤけそうなので家で聴いていて良かったです。
- 05 自分でも知らないことを知ることができる瞬間です。例えば「たまご」がテーマの日にはたまごっちについても考える機会がありましたが、自分が遊んでいた頃に比べて凄く進化していることを知り、驚くとともに面白そうだなと興味を持つことができました。
- 06 連想ゲームのようにテーマについて考えるのが少し難しいです。ですが、考えることも楽しいので、難しくても楽しみながら取り組むことができます。
- 07 まだやってみたい！と思うことはぱっと思いつかないです。ただ、大学生活と絡められるようなことはしてみたいと思います。私は学祭の実行委員もやっているの、模擬店であつたら嬉しい食べ物やお店は何かをリスナーの方に聞いてみたいです。リスナーの方の思い出話を聞くコーナーも面白そうだな、と思います。
- 08 勧めてみたいと思います。ちょうどコロナ期間ということもありあまりサークルとかにも入れず大学で何かやった、と言えることが無い人には特におすすめしたいです。自分のペースで参加できるので、アルバイトや勉強で忙しい人にも取り組みやすいと思います。
- 09 友達にこのボランティアのことを聞かなければ知ることができなかったのですが、私のようにこのようなボランティアを知らない人も多いと思います。これを機にたくさんの学生さんにこのボランティアを知っていただければと思います。